

# 県南・両毛版

## 災害時、福祉避難所に 栃木市 民間施設などと協定



協定書を手にする左から佐々木会長、鈴木市長、橋本会長

援を行う。専門家が講師となり、教員のスキル向上を目的とした研修会も予定している。

石島校長は「大きな応援と期待している。」

団、助けとしてとても心強い。教員の負担を減らし、子どもたちと向き合う時間を増やせるようにしたい」と

供を明記。いずれも市が設置した避難所、被災施設などへの備品の提供や介護職員の派遣などを盛り込んでいる。

市内の福祉避難所は、これまで市岩舟健康福祉センター「遊楽々館」1カ所だ

【栃木】市は4日、市役所で、市特別養護老人ホーム養護老人ホーム連絡会(18団体)と、市在宅介護サービス事業所連絡会(63事業所)とそれぞれ「災害時における応援・協力に関する基本協定」を締結した。

市役所の協定は、福祉避難所としての施設の提供、事業所連絡会とは福祉避難所開設までの在宅要介護者らの一時受け入れのための施設の提

供が、今回の協定で民間の施設を福祉避難所として利用できるようになる。市高齢福祉課によると、福祉避難所開設までの一時受け入れで協定を結ぶケースは県内で珍しいという。

縮結式では鈴木俊美市長と養護老人ホーム連絡会の佐々木剛(ささき たけし)会長、事業所連絡会の橋本渡進(はしもと わたる)会長が協定書に調印。鈴木市長は「積極的な申し出をいただき心から感謝申し上げます」と述べた。

(江戸美佐子)